

デンカ プレタスコンTYPE-LC

当社はグラウト用無収縮材のパイオニアとして、多様化するグラウト工事に対し材料開発・改良を続けております。「プレタスコンTYPE-LC」は、CO₂排出量が少ない原料を一部使用しております。よって、従来のグラウト材に比べ、製品におけるCO₂排出量の少ない、低環境負荷のグラウト用無収縮モルタルとなります。汎用品のグラウト材と同様に幅広い用途で利用できる製品です。



1 特長

①環境負荷が低いです。

製品あたりのCO₂排出量は189 kg-CO₂/tです。
汎用品に比べて約55%の削減に相当します。

②十分な耐力を有します。

長期強度の発現性に優れます。
(標準養生-材齢28日にて圧縮強度50 N/mm²を満足します。)

③施工が容易です。

プレミックスタイプのため、現場で水と練り混ぜるだけで安定した品質のモルタルが得られます。モルタルの流動性が優れており、空隙のないグラウトを可能にします。

④構造物との一体化が図れます。

空隙の発生を招くブリーディング現象がなく、適度の膨張性と長期に安定した無収縮性により、沈下・収縮を防ぎ、構造物との付着性を高めます。

⑤構造物施工管理要領に適合します。

構造物施工管理要領における無収縮モルタルの品質基準に適合します。

2 主な適用箇所

- 床版取替でのグラウト工事
- 橋梁支承の据付けでのグラウト工事
- その他グラウト工事

3 一般仕様

- ①荷姿：20kg袋
- ②結合材／細骨材比：1/1
- ③外観：セメント系灰白色
- ④標準水量：3.6 kg/1袋 (20kg袋)

4 標準配合と1袋当りの配合

1m³当りの
標準配合

製品	目標軟度 J ₁₄ 漏斗流下値 (秒)	W/材料 (%)	単体量 (kg/m ³)		1m ³ 当り の使用量
			材料	水	
プレタスコン TYPE-LC	8±2	18.0	1,860	335	93袋

1袋 (20kg)
当りの
標準配合

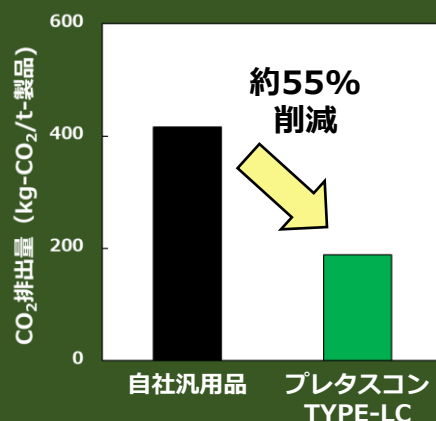
製品	目標軟度 J ₁₄ 漏斗流下値 (秒)	W/材料 (%)	質量 (kg)		練上り モルタル量 (ℓ)
			材料	水	
プレタスコン TYPE-LC	8±2	18.0	20	3.6	約10.8

一般物性

養生温度 (℃)	水量 (kg/1袋)	ブリーディング率 (%)	膨張収縮率 (%)	凝結時間 (時-分)		圧縮強度 (N/mm ²)			
				始発	終結	1日	3日	7日	28日
5	3.80	0.0	0.18	12-00	16-40	1.7	12.0	27.2	57.6
20	3.60	0.0	0.20	4-20	6-10	16.6	40.1	58.8	73.4
30	3.60	0.0	0.22	3-40	5-10	30.0	54.1	71.0	78.4

CO₂削減効果

製品	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /t-製品)	1 m ³ あたり	
		製品 (kg)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
自社汎用品	416	1,875	779
プレタスコン TYPE-LC	189	1,860	351



※CO₂削減効果は、環境配慮型コンクリート設計・施工管理要領（低炭素型コンクリート編）を参考に、一般社団法人サステナブル経営推進機構『LCIデータベースIDEAv3.4』、自社算出CFPを元に算出した値です。2024年時点の試算結果であり、今後変動する可能性があります。

使用上の注意点

練混ぜ

- 練混ぜ水は、油、塩類、有機物などを含まない清浄な水を使用してください。酸性溶液と混合することで、硫化水素ガスが発生するおそれがあるので、酸性溶液を使用しないでください。
- 練混ぜには、750rpm～1000rpmのグラウトミキサや、900rpm以上のハンドミキサ等の高速ミキサを使用し、1分～2分間練混ぜを実施して使用してください。ハンドミキサの回転翼はステンレス製や鉄製の物を使用し、アルミ製は異常膨張の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- 練混ぜ水が適正な量でない場合、硬化体に異常が生じ、無収縮グラウト材の性能が損なわれますので、指定の水量以外では使用しないでください。

コンクリート表面の清掃

- 注入前にコンクリート表面の油類、レイタンス層、汚泥を除去するとともにコンクリートに十分清水を吸水させてください。

注入・充填

- グラウト注入の前に、周囲の既設コンクリートにプライマーの塗布または水打ちを実施してください。
- グラウトは、自重圧工法またはポンプ施工により片側から注入・充填を開始し、流出側からモルタルがあふれ出るまで連続的に注入してください。巻込み空気や未充填部が残らないような処置を行ってください。

- モルタルは高アルカリ性ですので、アルカリ性の環境条件で腐食するもの（アルミサッシ等）には、直接モルタルが触れるような施工は避けてください。

養生

- グラウト施工終了後、モルタル表面を養生マット等で覆って、直射日光や風の影響を避け、絶えず湿っている状態に保持してください。冬場等で外気温が低い場合（5℃以下）には保温養生を施してください。
- モルタル露出部分は、急激な乾燥や長期にわたる乾燥によってひび割れが発生することがあります。
- 圧縮強度測定用の型枠は、内側にハクリ剤を塗布し、モルタル流込み後は、ラップ等で表面の乾燥を防いでください。

製品の保管上の注意

- 普通セメントより吸湿性が高いため、いったん開封したものはその日のうちに使用してください。
- 製品は直射日光、雨水の影響を受けない乾燥した室内に貯蔵保管してください。



警告



- 水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。
- 目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。
- 皮膚に付けないこと。
- 鼻や口に入れないこと。
- 保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。
- 子供に触れさせないこと。